

1) からの矢印に導かれる代用(仮想)文字の音配列を、絵カードに添えられた配列を手がかりに解読させ、「かきくけこ」にユニット化するまでくり返したどらせる。  
2) 困難な場合は「かき」の字おさえから始める。

a) 幾何図形を用いた記号体験。「かきくけこ」にユニット化するまでの過程では、位置と音とを照合して記憶する作業とともに、結果への予測や見通しが生じ、高度に知的な認知活動が展開される。

なんとよめるのかな？

